



Kegel LLC

製品： Fire レーンコンディショナー

安全データシート

改訂版： 1.0 2022年11月1日

セクション 1： 化学品及び会社情報

製品名： Fire レーンコンディショナー

パートナンバー： 156-8135-INT

推奨用途及び使用上の制限

特定用途： ボーリングレーンコンディショナー

推奨されない用途： この製品は、推奨する用途に従ってお使いいただきますようお願い致します。業務用専用

安全データシート提供者の詳細

製造業者 Kegel LLC
1951 Longleaf Blvd
Lake Wales, FL 33859, USA

会社電話番号 (863) 734-0200
(800) 280-2695

メール SDS@kegel.net

緊急連絡電話番号 Chemtrec
0800-300-5842 (24 時間対応緊急連絡先)

セクション 2： 危険有害性の要約

物質または混合物の分類： 本製品は以下の規格により危険物に分類される： GHS リビジョン 6

物理的危険： 区分外

健康被害： 急性毒性（吸入） 区分 4

眼刺激性 区分 2

環境ハザード： 水生環境有害性、長期間有害性 区分 4

ラベル要素



絵表示： GHS07

注意喚起語： 警告

危険有害性情報

H332： 吸入すると有害。

H319： 強い眼刺激。



H413：長期継続的影響により水生生物に有害のおそれ。

注意書き

安全対策： P261：粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P271：屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P264：取り扱い後は手をよく洗うこと。

P280：保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

P273：環境中に放出しないようにすること。

応急措置： P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P312：気分が悪いときは医師／に連絡すること。

P305+P351+P338：眼に入った場合：数分間水で注意深くすすぐこと。コンタクトレンズを着用していても容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337+P313：眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。

貯蔵：

廃棄： P501：内容物／容器を国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の危険有害性： なし

セクション 3：組成及び成分情報

物質／混合物： 混合物

化学名*	CAS ナンバー	官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	濃度 (重量百分率)	GHS 分類*
白色鉱油（石油）	8042-47-5	---	80	誤えん区分 1/H304 慢性水性毒物 区分 4/H413
留出油、直留 中油	64741-44-2	---	9	誤えん区分 1/H304
ジ-n-オクチルエーテル	629-82-3	2-3074	5	区分外
O, O-ジアルキル (C = 1 ~ 14) = ホスホロジチオアートの亜鉛塩	68649-42-3	---	1	皮膚刺激 区分 2/H315 眼に対する損傷性 区分 1/H318
報告レベル以下のその他の成分	---	---	5	区分外



*職業暴露限度は、ある場合には、セクション 8 に記載。上記の危険有害性情報の完全な文言については、セクション 16 を参照のこと。

セクション 4： 応急処置

必要な応急措置

皮膚に接触：皮膚を石けんと水で洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受けること。

眼に接触：眼を開けた状態で、少なくとも 15 分間、水でしっかり洗い流すこと。コンタクトレンズを着用している場合は、取り外し数分間目をすすぐこと。気分の悪さが続く場合、医師の診断／手当てを受けること。

経口摂取：医療専門家による指示のない限り、無理に吐かせないこと。対症的に治療すること。必要に応じて医師の診察を受けてください。意識のない者に口から何かを与えようとは決してしないこと。

吸入：さらに暴露しないようその場から遠ざけること。医師の診断／手当てを受けること。呼吸が困難またはチアノーゼ（皮膚が青紫色に変色すること）が認められる場合、有資格者が酸素を与えること。被害者に呼吸がない場合は人工呼吸を施すこと。

最重要の症状および影響、急性および遅発性

皮膚に接触：有害な影響は予想されません。

眼に接触：強い眼刺激。発赤、灼熱感、炎症、および涙が発生する可能性があります。

経口摂取：通常の取り扱い操作の結果として付随的に少量を飲み込んでも、それが傷害を起こす可能性は低い。

吸入：吸入すると有害です。吸入すると呼吸器への刺激やその他の肺への影響を引き起こす可能性があるため、ミストやスプレーの呼吸は避けてください。

すぐに必要な医学的処置および特別な治療の必要性

気分が悪い場合は、医師の診察または手当てを受けてください。医師にこの安全データシートを見せること。

セクション 5： 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤：油火災として処理。二酸化炭素、乾燥粉末、ユニバーサルタイプの泡、水霧の消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤：油は水面上を浮遊して、火を拡散することになる。ウォータージェットは使用しないでください。



物質／混合物に起因する特定の危険性： 圧が高まり容器が破裂して内容物が飛び散る可能性がある。燃焼は様々な酸化物を生成します。

消防員へのアドバイス

特別消防処置： 水スプレーを使用して、火にさらされている容器や構造物を冷却する。

消防員用の特別保護用具： 陽圧式自給式呼吸器および防火服(防災ヘルメット、コート、ズボン、長靴および手袋を含む)を着用する。

セクション 6：漏出時の措置

個人的注意事項、保護具、非常時の手順： 漏出に取り組む場合には、手袋や保護メガネを含め、防護衣を着用。発火源を取り除く。訓練を受けていない要員は避難させる。

環境に対する注意事項： 本製品は水に不溶で、水面に浮く。下水やドレンに入り込むのを防止すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： 床面は滑りやすくなっている。転ばぬよう注意すること。ドレン口は塞ぎ、物質が広がらないように封じ込めダムを築く。漏出物を砂、土、またはバーミキュライトなど、不活性物質に吸収させる。また、ユニバーサル吸着パッドも使用可能。少量のこぼれなら、水で拭き取り可能。絶対にこぼれたものを再使用のためにと元の容器に戻してはならない。漏出物清掃材は、廃棄用に適切にラベル表示された容器に回収すること。適用されるすべての規制や法律で要求される通りに材料を廃棄する。

セクション 7：取扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意： 異物混入を防ぐために容器は密閉した状態で保管すること。保護手袋と飛沫防止型保護メガネを含め、適切な個人用保護具を着用すること。使用後は手を洗うこと。

両立不能性も含めた、安全な保管の条件： 取り扱いと保管においては通常の注意事項を守ること。熱および炎から遠ざけておくこと。容器は密閉状態にしておくこと。製品保存寿命は、20°C~32°C (68°F - 90°F) の範囲内で貯蔵することにより最適に維持される。

セクション 8：暴露防止及び保護措置

管理パラメーター

暴露限度／標準



物質：白色鉱物油（石油）		
CAS 番号：8042-47-5		
国	限度値（8時間）	限度値（短時間）
日本産業衛生学会	3 mg/m ³ (鉱油ミスト)	

適切なエンジニアリング管理： 機械的な換気が示唆されるものの、製品の通常の使用においては、通常必要ではない。

個人用保護具などの個別の保護対策

眼と顔面の保護： 化学薬品を取り扱うときは、常に安全メガネや安全ゴーグルなどの適切な目の保護具を着用してください。

皮膚の保護： 皮膚との接触を最小限に抑えるために、ニトリル、ネオプレン、ラテックスなどの耐薬品性手袋と長袖などの保護服を着用してください。

呼吸器系の保護： 製品の通常使用では、特別な呼吸器保護は必要とされない。

セクション 9：物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観： 薄い黄色～オレンジ色がかった白色透明

臭い： 不快な臭いなし

臭気閾値： 未決定

pH： 未決定

融点： 未決定

凝固点： 未決定

初留点： 169°C (336.2°F)

蒸留温度 (90%)： 438°C (820.4°F)

引火点： >98.8°C (210°F) ペンスキーマルテンス密閉法による

火のポイント： 未決定

蒸発速度： 未決定

燃焼性 (液体)： 可燃性ではない、引火点を参照

爆発限界： 未決定

蒸気圧： 未決定

蒸気密度： 未決定

比重 (H₂O=1)： 0.900、20°C 時

水への溶解性： 不溶性

分配係数 (n-オクタノール/水)： 未決定

自然発火温度： 未決定

分解温度： 未決定

動粘度 (mm²/s)： 50.1、20°C 時

動粘度 (cps)： 45.1、20°C 時

爆発性： 未決定

酸化特性： 未決定

セクション 10：安定性及び反応性



反応性：仕様どおりに使用する場合、反応性なし

化学的安定性：通常の周囲条件では安定

危険有害反応の可能性：通常の使用条件ではなし。

避けるべき条件：高熱、炎、火花は避けること。

不適合物質：強酸や強酸化剤は避けてください。

危険有害な分解生成物：燃焼により、健康に害を及ぼす可能性がある様々な酸化物や蒸気が生成される。

セクション 11：有害性情報

毒性影響に関する情報：本製品では、毒性判定のための動物実験は行われていない。混合物の利用可能な特定試験データはない。主要成分に関する毒性データおよび局所的な作用。

可能性のある暴露経路の情報

摂取, 吸入, 皮膚接触, 眼に入った場合。

急性毒性：経口の分類の判定基準を満たしていない。経皮の分類の判定基準を満たしていない。吸入すると有害。

化学名 (CAS 番号)	経口 LD50	経皮 LD50	吸入 LC50
留出油、直留 中油 (CAS #64741-44-2)	>5,000 mg/kg (ラット)	>2,000 mg/kg (ラビット)	>2.53 mg/L (ラット)

皮膚腐食性／刺激性：分類の判定基準を満たしていない。

眼に対する重篤な損傷性／刺激性：強い眼刺激。

化学名 (CAS 番号)	結果	種	方法
O, O-ジアルキル (C = 1 ~ 14) =ホスホロジチ オートの亜鉛塩 (68649-42-3)	重篤な眼の損傷		メーカー仕様

呼吸器または皮膚感作性：分類の判定基準を満たしていない。

生殖細胞変異原性：分類の判定基準を満たしていない。



発がん性： 分類の判定基準を満たしていない。

生殖毒性： 分類の判定基準を満たしていない。

特定標的臓器毒性、単回暴露 (STOT-SE)： 分類の判定基準を満たしていない。

特定標的臓器毒性、反復暴露 (STOT-RE)： 分類の判定基準を満たしていない。

吸引性呼吸器有害性： 分類の判定基準を満たしていない。

毒性の数値的尺度： 以下の値は GHS 文書第 3.1 章に基づいて算出されたもの

ATEmix (経口)： 5,241 mg/kg

ATEmix (経皮)： 2,097 mg/kg

ATEmix (吸入 - 蒸気)： 5.0 mg/L

セクション 12： 環境影響情報

毒性： 本混合物に関する生態毒性データはない。本製品の混合物は、その主要物質により、水生生物に長期的な有害影響を与える可能性があるため、下水および排水システムおよびあらゆる水域に進入しないようにする。

化学名 (CAS 番号)	脊椎動物 LC50 (方法)	無脊椎動物 EC50 (方法)	藻類 EC50 (方法)
白色鉱油 (石油) (8042-47-5)	10,000 mg/L (OECD 203)	100 mg/L (OECD 202)	1,000 mg/L (OECD 201)

持続性と分解性： 混合物の生分解性は、まだ決まっていない。

化学名 (CAS 番号)	結果	分解性	方法
白色鉱油 (石油) (8042-47-5)	本質的に生分解性	28 日で 31%	OECD 301 F

生物蓄積性： 混合物についての利用可能なデータはなし

土壌中の移動性： 混合物についての利用可能なデータはなし

その他有害な影響： 知られていない

**セクション 13：廃棄上の注意**

廃棄物処理方法：内容物／容器はすべて、該当する国際、国、都道府県、市町村の管理規則に従って処分すること。回収し再利用するか、密閉容器に入れて免許のある廃棄物処分場で廃棄処理する。回収は認可・承認された化学物質の回収・廃棄施設、またはオイルリサイクル施設で実施。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、認定廃棄物処分施設に持ち込む必要がある。

セクション 14：輸送上の注意

	ADR/RID (道路／鉄道輸送)	IMO/IMDG (海上輸送)	IATA/ICAO (航空輸送)
国連番号	規制に該当しない	規制に該当しない	規制に該当しない
国連正式輸送品目名	規制に該当しない	規制に該当しない	規制に該当しない
危険有害性クラス	規制に該当しない	規制に該当しない	規制に該当しない
容器等級	なし	なし	なし
環境有害性	なし	なし	なし

使用者のための特別予防措置：常に容器は閉じた状態で、漏出事故を防止するため直立にしっかり固定して輸送すること。

MARPOL 73/78 の付属書 II 及び IBC Code によるバラ積み輸送：該当しない

セクション 15：適用法令**化審法**

優先評価化学物質：非該当

化審法-既存化学物質及び新規化学物質リスト (ENCS)

意図的使用成分はすべてインベントリー収載済みないし収載免除ないし供給元認証となっている。

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)：白色鉱油（石油）、留出油、直留 中油



Kegel LLC

製品：Fire レーンコンディショナー

安全データシート

改訂版：1.0 2022年11月1日

名称等を表示すべき危険物及び有害物 法第 57 条 (施行令第 18 条)：非該当

特定化学物質障害予防規則：非該当

有機溶剤中毒予防規則：非該当

健康障害防止指針公表物質：非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）：非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）：非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)：留出油、直留 中油

消防法：非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

化学物質排出把握管理促進法：非該当

高圧ガス保安法：非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物

セクション 16：その他の情報

セクション 3 に記載がある場合の危険有害性情報の全文言：

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

H315: 皮膚刺激。

H318: 重篤な眼の損傷。

H413: 長期継続的影響により水生生物に有害のおそれ。

その他の略語の全文



Kegel LLC

製品： Fire レーンコンディショナー

安全データシート

改訂版： 1.0 2022年11月1日

GHS - 化学品の分類および表示に関する世界調和システム

CAS No - ケミカルアブストラクトサービス番号

LD50 - 50%致死量（半数致死量）

LC50 - 50%致死濃度（半数致死量）

ATE - 急性毒性推定

EC50 - 半数効果濃度

OECD - 経済協力開発機構

ADR - 道路による危険物の国際輸送に関する国連

RID - 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

IMDG - 国際海上危険物規程

IMO - 国際海事機関

IATA - 国際航空運送協会

ICAO - 国際民間航空機関

UN - 米国

MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約

IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則

ENCS - 化審法の既存および新規化学物質リスト

情報源と参考文献

この SDS は、原材料メーカーから提供された情報、試験ラボからのデータ、およびその他の信頼できる化学情報源から作成されています。

SDS： Fire レーンコンディショナー

製品 ID： 156-8135-INT

SDS 改訂版： 1.0

SDS 改訂日： 2022年11月1日

改訂理由： 初版 SDS

読者各位への注記： 本書に記載の情報は、当社が知る限りにおいて正確です。しかしながら、上述のサプライヤー、またその子会社も本書記載情報の正確性または完全性について、何らの責任も負うものではありません。いかなる材料であろうとその適合性の最終的決定は、専ら利用者の責任です。すべての材料は未知の危険性を有していることがあり、使用にあたっては注意が必要です。一定の危険性は本書に説明がありますが、それらのみが存在する危険の全てであると保証できるわけではありません。